

地域公共交通のあり方についての懇談会の開催結果について

12月23日（土）に、第64回協議会で承認しました「奈良交通路線バスの再編」について、加茂地域（南加茂台地域・高田区）にて懇談会を開催しました。

I. 実施内容

奈良交通路線バスの「加茂線」の廃止に伴い、市からの経緯の説明と及び奈良交通㈱からの再編計画案の説明を行い、その後、地域住民からの意見などを伺いました。

II. 参加者数

南加茂台地域：約360名（会場に入りきれない方もいたため詳細不明）

高田区：36名



III. 主な意見

○廃止ではなく、何とか路線を維持してもらえないか。利用のある通勤・通学の時間帯だけでも構わない。

○高齢化が進む地域で、バスが無くなれば免許返納もできなくなる。

○バスは利用しなければ、いずれ無くなってしまう。これを機会に、地域住民が積極的に利用して、維持できるように考えなければならない。

○路線バス廃止に伴い、移動手段確保の為に市が代替案を示すべきだ。

○廃止を知ったのが、廃止の4か月前では何もできない。もっと早く、情報を共有すべきだった。

○国の地方創生臨時交付金を活用して、運行が1年延びたとしても、その後どうするのが重要である。持続的な交通網の検討が急務。

※奈良交通と協議の結果、加茂線と木津城山台線については、令和6年4月から1年間の運行継続が決定しました。